

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 6 月 26 日現在

機関番号：12401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02407

研究課題名(和文)室町期歌会資料の総合的研究

研究課題名(英文)A Comprehensive Study of Records of Muromachi "Poetry Meetings"

研究代表者

武井 和人 (TAKEI, Kazuto)

埼玉大学・人文社会科学部研究科・教授

研究者番号：80154962

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究において、従来未刊の(ないし詳述されることのなかった)室町期の歌会資料を、7点の典籍より、40点あまりについて、全文の釈文と略解題を付して刊行した。特に、武井蔵『月次和歌御会』は、田中登氏旧蔵本(これまでも研究者によって簡単に紹介はされて来たものである)で、幸運にも古書肆より購入することが出来たものである。この典籍は、この典籍にしか伝存を見ない歌会資料を多数収めており、そのすべての釈文を学界に提供出来た点は、本研究の大きな成果といえよう。また、研究集会を年1回開催し、歌会資料研究に関するさまざまな問題点・調査研究方法について、討議を行うことが出来たのも、成果の一つである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究において、従来ほとんど手つかずのまま放置されてきた室町期歌会資料の内、未刊のものにつき、書誌的考察を加えつつ、釈文を公刊して来た。また、原則として、公刊した釈文・略解題は、所属大学のリポジトリ(SUCRA)において、その全文を公開し、学界の共有研究リソースとしての活用を促してきた。しかし残念ながら、公刊し得た歌会資料は、未刊歌会資料全体から見ればごく一部にとどまり、室町期歌会の全体像は、依然として要検討課題のまま残ってしまっている。このように、本研究は、ささかな一歩を踏み出したに過ぎないが、この研究領域の重要性に気付いた方々を導く一つの道標にはなりえたと判断する。

研究成果の概要(英文)：In this study, relying on seven items of original documents, we published about 40 documents of poetry meetings with typographic translation and bibliographical notes which had not been published or described in detail. Especially, we luckily purchased "tsukinami waka gyokai" (月次和歌御会), which had been briefly introduced by other scholars. Noboru Tanaka originally collected the books, and Takei currently possesses them. The books contain a lot of documents on poetry parties compiled only in the books. One of the largest achievements of this project is to provide the interpretation of all the documents with the field. Another fruit of research is that we had a research meeting every year and discuss various problems with and research methods on research documents on poetry meetings.

研究分野：日本古典籍学

キーワード：室町時代 歌会 御会 月次 着到 禁裏 幕府 大乘院

1. 研究開始当初の背景

室町期、内裏・仙洞・柳営・縉紳・寺社等が、積極的かつ継続的に歌会(定数歌・法楽歌等を含む)を開催するようになる。これらの歌会資料については、井上宗雄「室町前期歌書伝本書目稿」「室町後期歌書伝本書目稿」において、時系列にそった先駆的研究成果が示されている。しかし残念ながら、当該稿に掲出された歌会資料を、一つ一つ丁寧に考証・公開した研究業績は極めて少ない。僅かに、宮内庁書陵部図書寮文庫蔵『公宴続歌』〔153・208〕の全文の翻刻と索引が公開されたのが例外的な研究成果として存するのみである。

現在、日本古典和歌のテキストとして広く流通・利用されている『新編国歌大観』にも、これら歌会資料はほぼ全く収載されておらず、そのため、和歌史研究において、室町期歌会資料は等閑視されているのが現状である。また、個々の歌会資料の調査・検討に至っては、その大半は放置されたままという他ないのが、近年までの研究現況であった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、上述の如くなかば打ち捨てられているこれら室町期歌会資料を蒐集し、成立事情の考証、諸伝本の調査、本文(釈文)の公開を通して、室町期歌会の一端を示そうとするところにある。また、学界に全くといって良いほど知られていなかった新たな和歌テキスト群を提供することで、和歌史研究・和歌表現史研究の重要な資料としての活用を促すことも、重要な目的の一つである。

3. 研究の方法

調査研究の予備的作業として、歌会資料を多数にかつ旧蔵者が分かるように管理・所蔵している、宮内庁書陵部図書寮文庫(禁裏本・三条西家本・伏見宮本等)及び歴史民俗博物館(高松宮家伝来禁裏本・田中穰氏旧蔵典籍古文書等)所蔵歌会資料を、冊子目録・データベース等より全体像を把握し、その中の室町後期歌会資料を対象を絞り、従来本文が公開されておらず、また研究も進捗していないものを選択し、書誌調査の上複写を申請し、必要に応じて他伝本も調査の上、釈文・解題を作成し、論文として公開する、という作業を従来続けて来た。

その研究成果を踏まえ、本研究においては、室町期全体に調査範囲を広げ、かつ、他古典籍所蔵機関(財団法人前田育徳会尊経閣文庫・神宮文庫・国立公文書館・興福寺国宝館・公益財団法人静嘉堂等)に所蔵される歌会資料、また、研究期間内に入手するを得た架蔵本等も、新たに研究対象として加え、より包括的な研究成果を目指して行く。

4. 研究成果

以下の歌会について、共同研究による略解題・釈文を作成し、公開した。

(1)財団法人前田育徳会尊経閣文庫蔵『於先一条殿号後妙華寺殿古今御談議之時廿首』〔87・什上〕所収歌会資料・5点

於先一条殿号後妙花寺殿古今御談儀之時廿首一統

慈恵大師法楽三十首一統作者栄雅二楽教国

細川道永卅首同忍継堯空御和答和哥

第十九番目大永七五月四日夢庵月忌始逍遙院御勸進一統

先大乘院殿大永二六月御上洛時於西殿一統

底本は孤本。五点とも、初めて釈文が公開されたものである。 は、室町後期の興福寺大乘

院歌壇を物語る数少ない資料である。

《発表論文》石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子・山本啓介「室町期歌会資料集成稿(五)」(『研究と資料』77、2017・7、pp.13-29)

(2) 国立歴史民俗博物館蔵田中本歌会資料・4点

享徳三年御会懐紙写〔H-743-17〕

続十首和歌〔H-743-109〕 山科言継筆

天文廿三年御会始〔H-743-331〕

天文廿四年御会〔H-743-332〕 山科言継筆

に関しては、筆跡、他文献との比較等により、山科言継筆と結論づけた。

《発表論文》<http://doi.org/10.24561/00018029>

(3) 神宮文庫蔵『嘉吉文安御會倭詞』〔3・634〕所収歌会資料・11点

内裏月次御詞 嘉吉三年三月盡

内裏月次御詞 同年四月廿一日

内裏月次御詞 同年五月廿五日

内裏月次御詞 同年六月十九日

内裏月次御詞 同年八月十五夜

内裏月次御詞 同稔八月廿七日

内裏月次御詞 文安元年八月十五夜

内裏月次御詞 同年十月廿一日

内裏月次御詞 同年十月廿一日

内裏月次御詞 同年十一月廿一日

内裏月次御詞 同年十一月廿四日当座

底本は孤本。『公宴続歌』の闕を補う重要な歌会資料である。

《発表論文》<http://id.nii.ac.jp/1586/00014308/>

(4) 興福寺国史館蔵『習見聴諺集』第六本〔興7・262〕所収歌会資料・5点

天文廿二年二月廿七日於東門院家一統

天文廿二年二月廿七日当座歌会

天文廿二年三月十七日為正三位家賢追善一統

永禄元年三月十七日大乘院家御会

〔年時未詳(永禄十年以前)〕夢想一統

当該歌会資料は、いずれも孤本と見做される。これらは、室町後期の大乗院歌壇に関する貴重な研究リソースであるだけでなく、南都歌壇と京都歌壇の結びつきを如実に語る点でも、逸し難いものと思われる。

《発表論文》<http://id.nii.ac.jp/1586/00018326/>

(5) 宮内庁書陵部図書寮文庫蔵『三条西実隆日課草』〔503・242〕

この詠草は、文明13年(1481)9月1日より同年12月12日まで、後土御門天皇が催した着到千首和歌(所謂『文明千首』)のために、三条西実隆が詠じた歌稿である。実隆自筆。三条西家旧蔵。もとより孤本であるのみならず、歌人が如何にして歌会への詠草を作り上げて行くか、その過程を如実に物語る稀有の資料。

《発表論文》<http://id.nii.ac.jp/1586/00018498/>

(6) 国立公文書館(旧内閣文庫)蔵『室町殿月次和歌』〔201・0136〕所収歌会資料・6点

長禄二年正月二日幕府月次始

長祿二年二月一三日幕府月次歌会
長祿二年二月一三日幕府当座歌会
長祿二年五月一三日幕府月次歌会
長祿二年十一月一三日幕府月次歌会
康正元年十二月廿九日日野政光十三回忌品経和歌（抄）

同一内容を持つ今一つの伝本である肥前島原松平文庫蔵『室町殿月次／長祿二』（140・13）（国文学研究資料館・日本古典籍総合目録データベース所掲画像による）と校合した。武家方で行われていた歌会を知りうる好資料である。

《発表論文》<http://id.nii.ac.jp/1586/00018672/>

(7) 架蔵本『月次和歌御会』所収歌会資料・12点

永正四年正月一九日禁裏月次御会始（部分）
永正四年二月二五日禁裏月次御会
永正四年三月二五日禁裏月次御会
永正四年四月二五日禁裏月次御会
永正四年五月二五日禁裏月次御会
永正四年六月二五日禁裏月次御会
永正四年七月二四日禁裏月次御会
永正四年八月二五日禁裏月次御会
永正四年九月二五日禁裏月次御会
永正四年一〇月二五日禁裏月次御会
永正四年十一月二五日禁裏月次御会
永正四年十二月二五日禁裏月次御会

永正4年度の禁裏月次御会の詠草は『公宴続歌』に収められておらず、僅かに『一人三臣和歌』に後柏原院・三条西実隆・下冷泉政為・上冷泉為広の詠が収められるのみ。架蔵本は『公宴続歌』の闕を補う重要な資料である。なお架蔵本は孤本、田中登氏旧蔵。

《発表論文》<http://id.nii.ac.jp/1586/00018802/>

以上の論文を通して、学界に、新資料の提供、新たな研究分野と研究方法の提示をなしたと考える。

論文作成と併行して、毎年中間報告をかねた研究会を開催した。その詳細は以下の通り。

《第1回・調査研究報告集会》於；埼玉大学東京ステーションカレッジ 2017/9/4

武井和人「享祿四年十一月十日伏見殿十首歌会 - 二つの言継筆本をめぐって - 」
石澤一志「文明十二年九月一日起筆 内裏着到和歌の新資料」

《第2回・調査研究報告集会》於；埼玉大学東京ステーションカレッジ 2018/8/31

武井和人「【調査報告】阪本龍門文庫蔵『御五時代和歌』について」
石澤一志「文明十二年九月一日起日 後土御門院主催 着到和歌」の新資料」
辰田芳雄「後柏原天皇主催着到和歌の特徴 - 永正三年と永正十六年の着到和歌を事例に - 」
本山八重子「室町後期の内裏着到和歌について その作法の考察」

《第3回・調査研究報告集会》於；埼玉大学東京ステーションカレッジ 2019/8/26

武井和人「室町期歌会資料攷二則 - 架蔵『月次御会和歌』・今治市河野美術館蔵『和歌着到』 - 」
山本啓介「『続千載和歌集』の雑体部について」
石澤一志「文明度々百首」について」

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計7件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子・山本啓介	4. 巻 79
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (七)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 11 - 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子	4. 巻 80
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (八)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 21 - 52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子・山本啓介	4. 巻 77
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (五)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 13-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子	4. 巻 53-1
2. 論文標題 国立歴史民俗博物館蔵田中本室町期歌会資料四点 - 釈文・略解題 -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 埼玉大学紀要 教養学部	6. 最初と最後の頁 39-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://doi.org/10.24561/00018029	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石澤一志・酒井茂幸・武井和人・日高愛子・山本啓介	4. 巻 78
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (六)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 11-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子・山本啓介・本山八重子・別府節子	4. 巻 82
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (十)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 7-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石澤一志・武井和人・日高愛子・山本啓介	4. 巻 81
2. 論文標題 室町期歌会資料集成稿 - 釈文と略解題 - (九)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 研究と資料	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 武井和人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 武蔵野書院	5. 総ページ数 2058
3. 書名 十市遠忠和歌典籍の研究	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	辰田 芳雄 (TATSUTA YOSHIO)		
研究協力者	本山 八重子 (MOTOYAMA YAEKO)		
研究協力者	別府 節子 (BEPPU SETSUKO)		
連携研究者	石澤 一志 (ISHIZAWA KAZUSHI) (30507752)	鶴見大学・文学部・非常勤講師 (32710)	
連携研究者	酒井 茂幸 (SAKAI SHIGEYUKI) (40773271)	埼玉大学・学内共同利用施設等・非常勤講師 (12401)	平成29年度のみ
連携研究者	日高 愛子 (HIDAKA AIKO) (20706741)	志學館大学・人間関係学部・講師 (37703)	
連携研究者	山本 啓介 (YAMAMOTO KEISUKE) (50601837)	青山学院大学・文学部・准教授 (32601)	